

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 美術館一般管理費
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額		
経常	単独	通常	0	0	45,050			平成23年度	-
								平成24年度	-
								平成25年度	-
								平成26年度	-
							平成27年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)	財源内訳	使用料及び手数料	諸収入				その他	一般財源
本年度当初要求額	2,471		本年度当初要求額	0	0				2,471	△2,471
本年度当初査定額	2,598	55,639	本年度当初査定額	2,346	252				0	53,041

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 経常的な運営(美術館運営協議会の開催、機器保守点検及び施設管理等委託、その他美術館運営業務等)により施設を良好な状態に保ち、市民が身近に芸術文化に親しめる場所を提供します。</p>	<p>(事業の目的) 美術館の適正な運営により施設・設備を良好な状態に保ち、施設利用者に美術に親しめる快適で安全な場所を提供します。</p>	<p>(事業の効果) 施設の機能を維持管理することにより、来館者及び市民ギャラリーやホール利用者が安全かつ快適に館内で過ごし、また展覧会などの催しを行うことができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 施設の老朽化にともない、故障時の対応だけでなく計画的な予防措置が重要ですが、改修経費が多くなるため、どの段階で交換すべきか予算を考慮した判断が難しくなっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 電気料金が上昇しており節電の対応も限界にきています。消費税の増額と併せて高熱水費を増額しています。</p>	<p>(見積についての特記事項) 施設の維持管理は利用者の安全のために必要不可欠です。快適な施設空間を提供することにより市民ギャラリー・ホールの利用者だけでなく、来館者及び市民の満足度も向上します。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額	特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
01	153	153	0		13	01	08	04	06	00		美術館施設使用料	1,473	1,600	1,473	127
07	5,005	5,023	△18		13	01	08	04	07	00		社会教育施設占用使用料	746	746	698	48
09	102	96	6		20	05	04	01	07	00		書籍等売払収入	252	252	246	6
11	25,141	24,826	315													
12	890	897	△7													
13	23,325	23,188	137													
14	316	307	9													
18	632	945	△313													

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 美術館一般管理費
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
19	75	75	0

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度	本年度	前年度	増減額
							要求額	査定額	予算額	
特定財源										
						差引一般財源	△2,471	53,041	△2,417	55,458